

東北地方 1か月予報

(10月22日から11月21日までの天候見通し)

平成17年10月21日
仙台管区気象台発表

<予想される向こう1か月の天候>

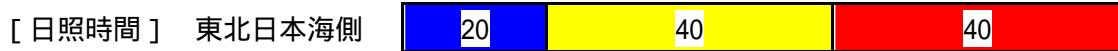
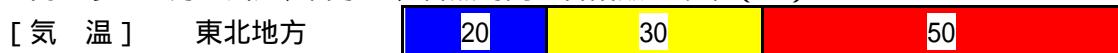
向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候は以下のとおりです。

天気は数日の周期で変わるでしょう。東北日本海側は平年と比べて晴れの日が多く、東北太平洋側では平年と比べて晴れの日が少ないでしょう。

向こう1か月の平均気温は高い、降水量は東北日本海側で平年並、東北太平洋側で平年並が多い、日照時間は東北日本海側で平年並が多い、東北太平洋側で平年並か少ないでしょう。

週別の気温は、1週目は高い、2週目、3～4週目は平年並か高いでしょう。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



 低い(少ない)  平年並  高い(多い)

<気温経過の各階級の確率(%)>



 低い  平年並  高い

<予報の対象期間>

1か月 : 10月22日(土)～11月21日(月)

1週目 : 10月22日(土)～10月28日(金)

2週目 : 10月29日(土)～11月4日(金)

3～4週目 : 11月5日(土)～11月18日(金)

<次回発表予定等>

1か月予報 : 毎週金曜日 14時30分 次回は10月28日

3か月予報 : 10月25日(火) 14時00分

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間と1週目、2週目、3~4週目の平均気温)

	気温()	降水量(mm)	日照時間(時間)	気温()		
				1週目	2週目	3~4週目
大船渡	9.9	115.2	149.2	12.0	10.9	9.0
新庄	8.1	191.4	79.9	10.3	9.0	7.0
若松	8.8	74.3	104.3	11.0	9.8	7.9
深浦	9.3	155.2	92.9	11.6	10.4	8.3
青森	8.4	131.4	113.8	10.7	9.5	7.3
むつ	8.1	117.4	128.8	10.4	9.2	7.0
八戸	8.5	72.9	151.5	10.8	9.6	7.4
秋田	9.5	182.6	108.6	11.8	10.5	8.4
盛岡	7.5	101.4	133.1	9.8	8.5	6.5
宮古	9.4	89.7	156.6	11.4	10.3	8.5
酒田	10.7	211.6	105.0	12.9	11.6	9.7
山形	9.0	78.3	116.2	11.2	9.9	8.0
仙台	10.9	77.3	152.6	13.0	11.8	9.9
石巻	10.2	78.8	160.1	12.4	11.2	9.2
福島	10.7	71.2	141.0	12.9	11.7	9.8
白河	9.4	72.9	153.6	11.4	10.3	8.5
小名浜	12.4	103.9	166.4	14.4	13.3	11.6

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971~2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差()	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.4~+0.6	82~112	95~104
東北日本海側	-0.3~+0.5	92~107	94~106
東北太平洋側	-0.4~+0.6	68~119	96~104

(3) この予報期間の1週目、2週目、3~4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3~4週目
東北地方	-0.7~+0.7	-0.7~+0.7	-0.4~+0.6
東北日本海側	-0.7~+0.7	-0.6~+0.8	-0.4~+0.5
東北太平洋側	-0.6~+0.7	-0.7~+0.7	-0.4~+0.6

<参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温(降水量)等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。

階級の幅は、1971~2000年の30年間における各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった10%以下や60%以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1より多い(少ない)ことを意味します。

東北地方 1か月予報解説資料

平成 17 年 10 月 21 日 仙台管区気象台

1. 出現の可能性が最も大きい天候

向こう 1 か月 (10 月 22 日 ~ 11 月 21 日):

天気は数日の周期で変わるでしょう。東北日本海側は平年と比べて晴れの日が多く、東北太平洋側では平年と比べて晴れの日が少ないでしょう。

平均気温は高いでしょう。

1 週目 (10 月 22 日 ~ 10 月 28 日):

明日(22 日)から明後日(23 日)は低気圧や寒気の影響で曇や雨で、荒れた天気となる恐れがあります。その後は高気圧に覆われて晴れの日が多いですが、期間の終わりも気圧の谷の影響で曇や雨の日があるでしょう。なお、明日(22 日)から明後日(23 日)にかけて、高い山では雪の降る所もある見込みです。

平均気温は高いでしょう。

2 週目 (10 月 29 日 ~ 11 月 4 日):

天気は数日の周期で変わるでしょう。東北日本海側は平年と比べて晴れの日が多く、東北太平洋側では平年と比べて晴れの日が少ないでしょう。

平均気温は平年並か高いでしょう。

3 ~ 4 週目 (11 月 5 日 ~ 11 月 18 日):

天気は数日の周期で変わるでしょう。東北日本海側は平年と比べて晴れの日が多く、東北太平洋側では平年と比べて晴れの日が少ないでしょう。

平均気温は平年並か高いでしょう。

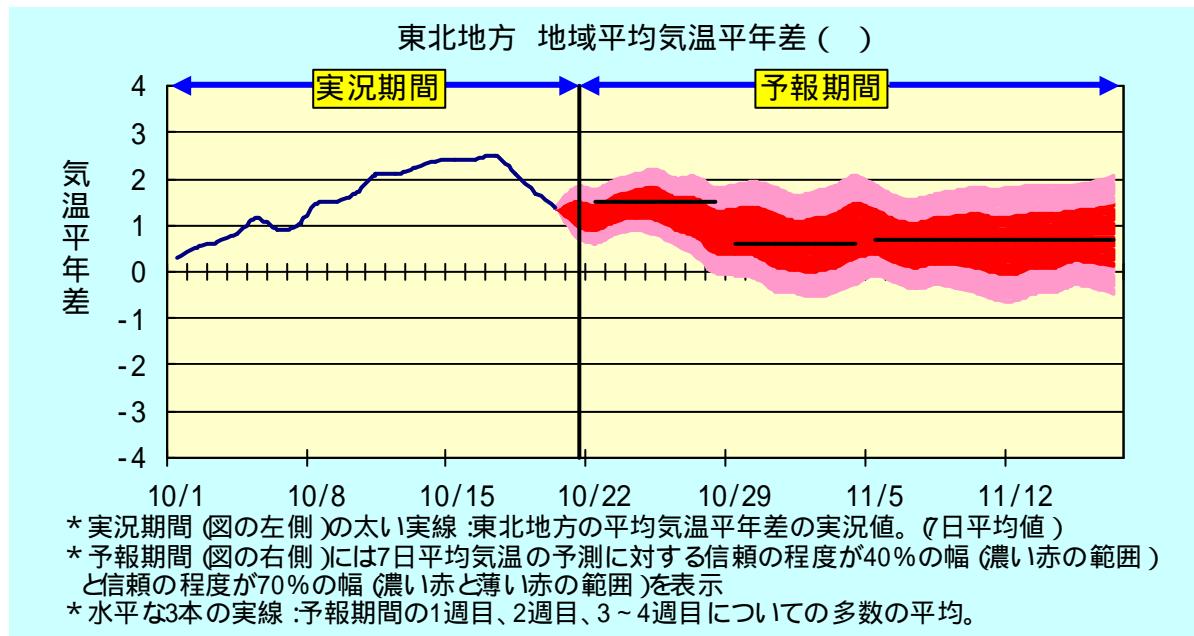
平年の晴れ日数

	向こう 28 日間	1 週目	2 週目	3 ~ 4 週目
東北日本海側	10.6 日	3.3 日	2.9 日	4.4 日
東北太平洋側	16.8 日	4.5 日	4.2 日	8.1 日

2. 東北地方の平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別の気温は、1 週目は「高い」、2 週目は「平年並」、3~4 週目は「高い」と予測している。予報はその他の資料から 2 週目、3~4 週目を「平年並か高い」とする。

なお、数値予報の信頼度は大きい。

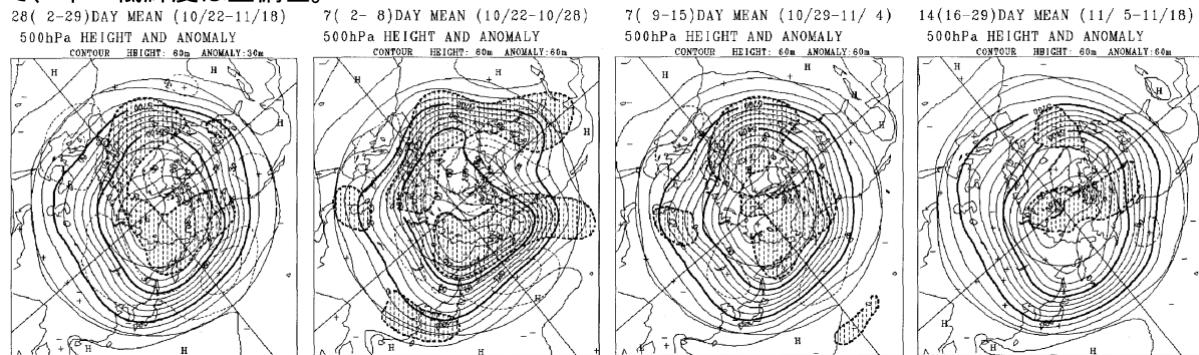


3. 数値予報（アンサンブル平均天気図）による大気の流れの予想

500hPa 高度と偏差：

月平均では、極付近から東シベリアにかけて負偏差。日本付近の中緯度帯はユーラシア大陸から日付変更線を中心とした東西に広い正偏差に覆われ、寒気の南下は弱い見込み。

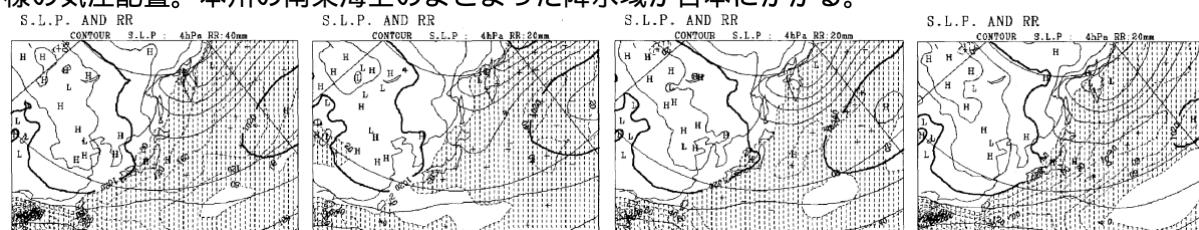
1週目は、東日本以北は日付変更線付近に中心を持つ正偏差に覆われるが、西日本から華南にかけては負偏差。2週目は、月平均と同様に極付近は負偏差。中・低緯度はバイカル湖付近と日付変更線付近を中心に正偏差となる。3~4週目は、全体に偏差は弱まるものの、極付近は負偏差で、中・低緯度は正偏差。



地上気圧と降水量：

月平均では、ほぼ平年と同様の気圧配置。まとまった降水量域が日本の南東海上に広がり、東北太平洋側では平年と比べて曇や雨の日が多い見込み。

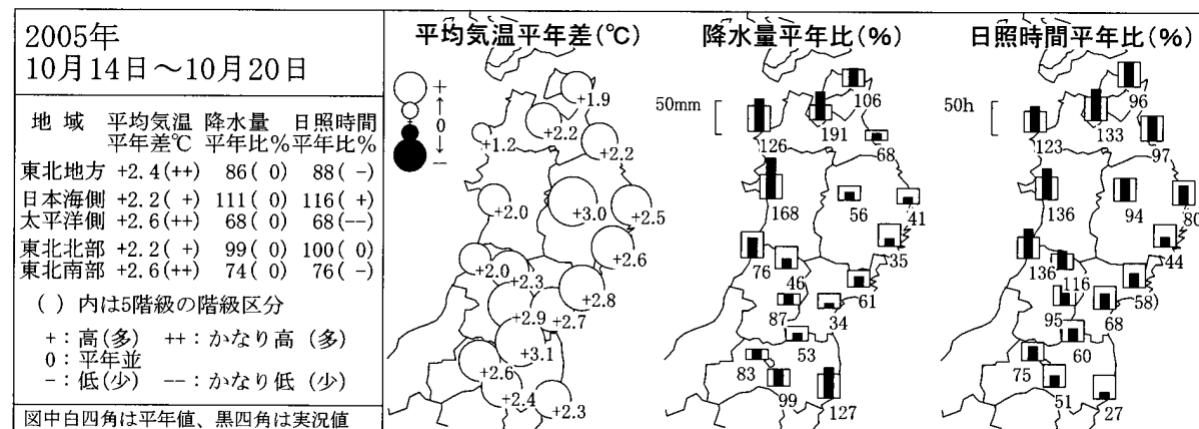
1週目は、日本付近は東西の高気圧に挟まれた谷場で、弱い降水量域がかかる。2週目は、日本付近の東西に伸びる帯状の高圧部が明瞭。北日本の降水量域はやや弱い。3~4週目は、ほぼ平年と同様の気圧配置。本州の南東海上のまとまった降水量域が日本にかかる。



4. 最近1週間（10月14日～10月20日）の天候の経過

この期間、14~15日にかけてオホーツク海付近の低気圧から南に伸びる寒冷前線が東北地方を通過したため曇や雨となった。その後前線が南下して関東の南岸沖に停滞し、台風第20号が関東の南海上を北東進したため、16~17日にかけて東北南部を中心に雨の降る所があった。18日から高気圧が日本付近を覆い、19日には台風第20号は温帯低気圧に変わって前線も南に下がったため、晴れる所が多くなったが、東北太平洋側南部では一時雨となる所があった。

平均気温は東北日本海側で高く、東北太平洋側でかなり高い。降水量は東北地方で平年並。日照時間は東北日本海側で多く、東北太平洋側でかなり少ない。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）